



Title	コアファシリティ機構 低温科学支援部門の発足
Author(s)	中谷, 亮一
Citation	大阪大学低温センターだより. 2024, 174, p. 1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/94813
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

コアファシリティ機構 低温科学支援部門の発足

コアファシリティ機構 副機構長 中谷 亮一

大阪大学低温センターは、1958年に設置された理学部 極低温実験室および1968年に工学部に設置された低温センターを統合し、1971年に学内共同利用施設として発足しました。およそ50年間、低温を研究に用いる研究室、組織の皆様に迅速で安価に液体ヘリウム、液体窒素を供給し、大阪大学における最先端の教育・研究を支援することを最大のミッションとしてきました。

この低温センターは、2023年4月より、科学機器リノベーション・工作支援センターと統合され、新たにコアファシリティ機構（機構長 尾上孝雄 理事・副学長）が発足致しました。この統合・改組は、大阪大学が世界と伍する高度な研究を推進し、研究者が研究に専念することのできる研究基盤・研究支援体制の強化を図るために行われました。低温センターは、一見、科学機器リノベーション・工作支援センターと異なる形の組織に見えますが、研究支援を行う組織という点で、その目標は一致しております。

大阪大学コアファシリティ機構は、図のように、科学機器リノベーション・工作支援センターを母体とする「共創利用支援部門」、「工作支援部門」、低温センターを母体とする「低温科学支援部門」および新設した「データ利活用・DX化支援部門」、「研究支援人材育成部門」の5部門から構成されます。旧低温センターは、組織上は、コアファシリティ機構の一部門となりましたが、低温を研究に用いる研究室、組織の皆様に迅速に安価に寒剤を供給するという役割には変わりがありません。低温科学支援部門の部門長には、竹内徹也教授が就任し、部門全体を統括していただきます。私は、副機構長ではありますが、これまで通り、吹田分室を兼任致します。なお、「低温センターだより」の名称についても、変更せず、そのまま継続することに致します。

今後、社会貢献・地域貢献の立場から、学外向けのヘリウム液化事業をさらに進めて行く予定ではございますが、学内の皆様にはその影響のないよう制度づくりから始めておりますので、今後も皆様のご理解、ご支援を賜りたく、宜しくお願ひ致します。

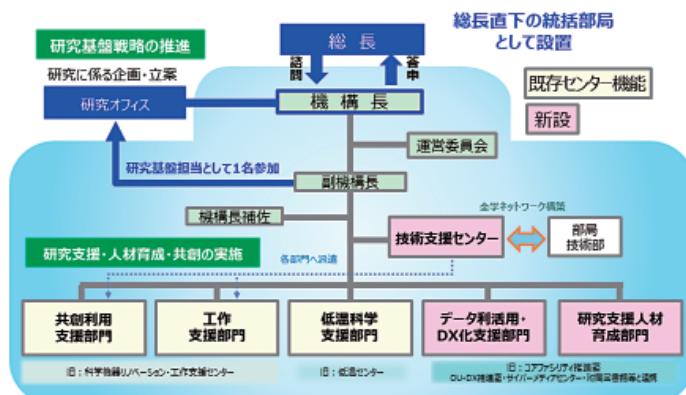


図1. コアファシリティ機構の概要（コアファシリティ機構ホームページより抜粋）